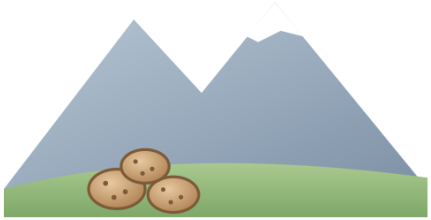
世界の食文化が多様なわけ（地形・気候・宗教）

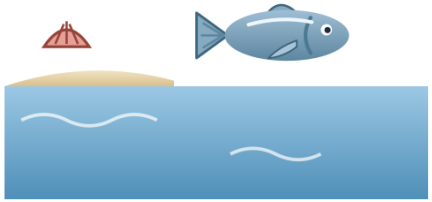
世界各地でさまざまな食文化が育まれてきたのはなぜか

① 地形：低地と高地



高地では、寒さに強い作物が育つ（例：アンデスの高地のじゃがいも）

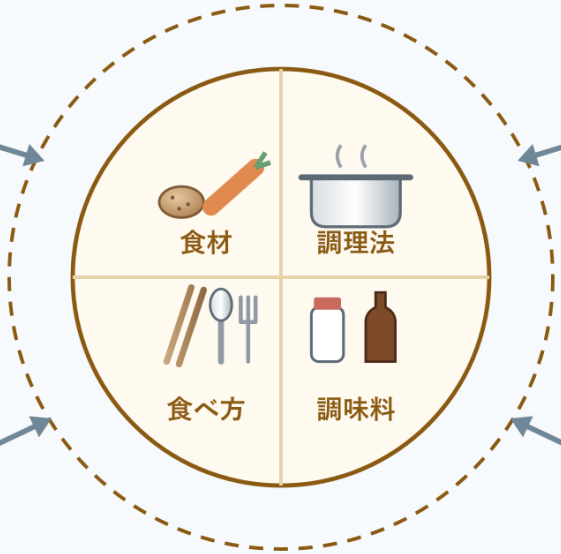
② 地形：内陸と海岸



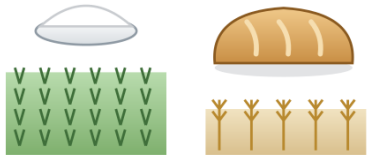
海岸部では、魚や貝など海でとれる物が食材になる

食文化

点線の輪：交流や流通で変わる部分
（ほかの地域の食べ物も食べられる）



③ 気候：寒暑・乾湿



高温で雨の多い地域は水田の米、比較的乾燥した地域は小麦を粉にしてパンやめんに

④ 宗教上のきまり



食べない物を決めている宗教がある（例：豚肉、牛肉）。守り方は人や地域によってちがう

地形・気候・宗教などの地理的環境が組み合わさり、食文化が多様になる。ここにあるのは典型例で、一つの国や人々の食べ方を決めつけるものではない。

※ 模式図。絵は典型例で、特定の国・民族の食べ方を表さない。